

6. 本時の目標

小数×整数（2位数）を計算する算数的活動を通して、計算原理や方法を理解し、筆算で計算することができる。

7. 本時の展開

| | 学 習 活 動 | 評価規準及び個に応じた指導 | |
|------|---|--|--|
| | | 指導援助（T1 傍島） | 指導援助（T2 菱田） |
| つかむ | <p>1. 学習問題を理解し、課題をつくりだす。</p> <p>毎日 1.7 kmのジョギングをしている人がいます。 28 日間で何km走るでしょう。</p> <p>・ 1.7 kmの 28 日分だから、1.7×28 ・ 前は小数×1けただったけれど、今日は小数×2けた</p> <p>小数×2けたの整数の計算のしかたを考えよう。</p> | <p>・ 問題を提示する。 ・ 前時の学習と似ているところや違うところをおさえる。 ・ 考える手順を示す</p> <p>①計算のしかたを考える。 ②積の小数点はどこにうてばよいのかを考える。 ③計算のしかたを順序よく話す準備をする。 ④自分で小数×2けたの式をつくり、計算する。</p> | <p>つまずきが予想される児童について指導援助する。</p> |
| 考える | <p>2. 筆算をして、小数点のうしかたを考える。</p> <p>ア、かけられる数にそろえて積の小数点をうつ</p> <pre> 1.7 × 2.8 ----- 13.6 34.0 ----- 47.6 </pre> <p>答 47.6 km</p> <p>イ、0.1 のいくつかで考える 1.7 は 0.1 の 17 ぶん $1.7 \times 28 = 0.1$ が 17×28 で 476 こ $1.7 \times 28 = 47.6$</p> <p>答 47.6 km</p> | <p>・ $17 \times 28 = 476$ の筆算が正しくできているか確かめる。 ・ かける数は2けただが、小数点のうしかたも前と同じでよいのか考えさせ、0.1 のいくつかの考え方ができるようにする。 ・ 0.1 のいくつかの考え方と筆算とをつないで説明できるように声をかける。 ・ 0.1 のいくつかの考え方と筆算がつながるように板書する。 ・ 0.1 のいくつかで考えると、整数×整数の計算がそのまま使えることをおさえる。</p> | <p>・ 算数コーナーで前時の筆算の手順を確認しながら計算する。 * 筆算の手順の掲示 * かけ算九九表 * 筆算用方眼</p> <p>・ 筆算の手順を順序よく話せるように一緒に練習する。</p> <p>・ 発表の支援をする。</p> <p>・ 「0.1 が 17×28 で 476 こ だから 47.6」の意味をおさえる。</p> |
| 深める | <p>3. 筆算のしかたを交流する。</p> <p>・ 17×28 と同じように計算し、かけられる数にそろえて積の小数点をうった。 ・ 0.1 のいくつかで考えると、0.1 の 476 ぶんになるから、47.6 になる。 ・ 17×28 の筆算と比べると、小数点の違いだけで、計算のしかたは、今までと変わっていない。 ・ 0.1 のいくつかで計算すると、17×28 と同じ計算になる。</p> | <p>< 数学的な考え方 > 0.1 をもとにすれば、1.7×28 は 17×28 の筆算の手順と同じと考える。</p> | |
| まとめる | <p>4. まとめる。</p> <p>小数×2けたの整数の計算は、整数×整数で積を求めて、0.1 のいくつかで答えを出す。</p> <p>5. 本時の理解をもとに、練習する。 1.7×28 の筆算のしかたをペアで説明し合う。 ・ 「0.1 が 476 ぶん で 47.6」が言えているかをペアで確認し合う。 < じっくり問題 > 方眼を使って、小数×2位数の筆算を計算する。 積の0の処理が必要な筆算を練習する。 < チャレンジ問題 > 小数×2位数、小数×1位数を筆算で計算する。</p> <p>6. 学習を振り返る。 ・ 自分の考えがノートに書けたか。 ・ 自分の考えを順序よく話すことができたか。 ・ キーワードを使って話すことができたか。 ・ 小数×2けたの筆算が正しくできたか。</p> | <p>< 表現・処理 > 1.7×28 などの小数×整数（2位数）の計算が筆算でできる。</p> <p>・ 「0.1 が 476 ぶん で 47.6」が言えているかを確認する。 ・ 積の0の処理を確かめる。</p> | <p>・ 「0.1 が 476 ぶん で 47.6」が言えているかを確認する。 ・ 積の0の処理を確かめる。</p> |

